

アイシンの人的資本強化に向けた取り組み

② 技能系従業員のプロ化

生産に関わる技能系職場では、自己成長がより実感しやすくなるよう、職能資格ごとに身に付けるべき知識・技能・技術を明確にし、一人ひとりが主体的・意欲的に自己成長（キャリアアップ）をめざすことができる仕組み（キャリアWay）を導入しています。また、従業員のチャレンジ意欲向上をねらい、技能検定（国家・社内）の受験支援をしています。

ものづくりリーダーの育成

ものづくりの現場でリーダーとなる人材育成のために、企業内訓練校「アイシン学園」を運営し、国内のグループ会社を含めた新入社員と海外拠点からの派遣研修生を対象とした1年間の実践的な技能教育やリーダーに必要な心身教育を実施しています。また学園内に、将来動向を見据え、デジタル技能への順応を目的としたコンピュータ制御科を新設しました。ここではAI/IoTの基礎や生産現場で活用されるデータ収集から活用までの技能を習得するなど、現場での即戦力としての活躍を期待しています。

技能五輪大会出場に向けた訓練を行うなど、専門的な知識・技能を習得するとともに、ものづくり力や忍耐力、さらには本質を見抜く探究心を持つ「自ら考え行動できる人材」の育成を実施しています。訓練で習得した知識・技能だけでなく、訓練課程で培った人間性を生かし、将来、現場をけん引する立役者として活躍することで、現場力の向上や、職場の活性化を図ります。

職場の人材育成「QCサークル活動」

アイシンのQCサークル活動は、「お客様第一」「絶え間ない改善」「全員参加」の3本柱からなり、トップからサークルメンバーまでが一体となった活動を通じて人と組織の活力を高める現場力強化と、問題解決能力の向上やリーダー育成等につなげています。アイシン単体で約1,800サークル、さらに国内外グループ全社でも活動を進めています。これらの活動の結果、全国大会において「感動賞」「体験事例優秀賞」受賞をはじめとした、数多くの大会で毎年受賞しています。

支援者研修(課長)

QCサークル活動を活性化させる鍵を握っている支援者の方に研修を通じ、役割や支援方法を学び、共有する事でサークル育成・活動活性化に役立てる事をねらいとする。



支援者(課長)

アドバイザー(工長)

推進者(職長)

リーダー(班長または班長候補)

サークルメンバー(期間社員含む)

アドバイザー研修(工長)

QCサークルアドバイザーの役割を講話やグループディスカッションを通して習得、自部署のサークル活動への指導・支援に役立てる。

推進者研修(職長)

QCサークル活動を直接指導する立場である職長に「推進者としての役割」を理解頂く事でサークル員の人材育成および活性化を図る。

リーダー研修

QCサークルを直接、運営するリーダーに講話やグループ討論を通じ「リーダーの役割」等を習得、自サークルの活性化に役立てる。